

研究機関名：東北大学

受付番号： 2010-83
研究課題名：JCOG0909 切除不能・再発小腸腺癌に対する化学療法の 実施状況に関する多施設後ろ向き研究
研究期間 西暦 2010 年 5 月（倫理委員会承認後）～2010 年 6 月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名) <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名) <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（調査票）
上記材料の採取期間 西暦 1999 年 4 月～ 2009 年 3 月
意義、目的 小腸悪性腫瘍は全悪性腫瘍の 0.1～0.3%、全消化管悪性腫瘍の 2%と稀な疾患で、 切除不能あるいは再発小腸がんと診断された場合、一般的には胃癌あるいは大腸癌 準じてこれら疾患で行われる化学療法が行われるが、標準的な化学療法は確立され ていない。 今回の疫学調査により、本邦における上記対象群に対する化学療法の実施状況を 把握することができ、さらに今後小腸がんの標準的化学療法を確立するために、前 向き試験を立案するための資料となることが期待される。
方法 JCOG 消化器がん内科グループに参観している 37 医療機関を 1999 年 4 月から 2009 年 3 月までに受診した切除不能・再発小腸腺癌患者を対象として、年齢、性別、 全身状態、基礎疾患、原発部位、組織型、切除不能か再発か、一次治療の内容、そ の時の治療効果、後治療の内容などについて調査票を用いて調べる。 調査票には、氏名、生年月日、住所、イニシャル、カルテ番号などの患者の特定 できる個人情報記載しない。完成した調査票は静岡がんセンターの朴成和（研究 代表者）に送付され、データ解析が行われる。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学加齢医学研究所癌化学療法研究分野 加藤俊介 022-717-8547